

近畿労働金庫新本店ビル



空間コメント

テラコッタ陶板を箱型に覆い、縦方向に長いカーテンウォールと対比させています。テラコッタはあえてやきものの表情を狙い、焼きムラがひとつのピースに表れています。テラコッタは梁のように凸状に施工され、縦方向のデザインが強調されています。また、小端面を見せて素材の厚みを表現しています。外壁面は等間隔に柱のように配置され、横方向への連続性も示しています。

DATA

設計：株式会社日建設計
施工：株式会社銭高組
所在地：大阪府大阪市西区江戸堀1-27-67
竣工：2008年8月

商品情報

テラコッタ陶板：FC-11/(特注) 670×450 (mm)
FC-11/(特注) 670×250 (mm)

ディテール



タイルディテール



タイルディテールアップ



タイルディテールアップ

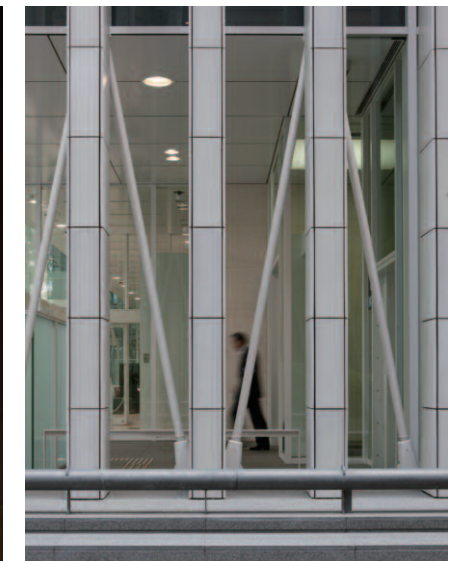
外観



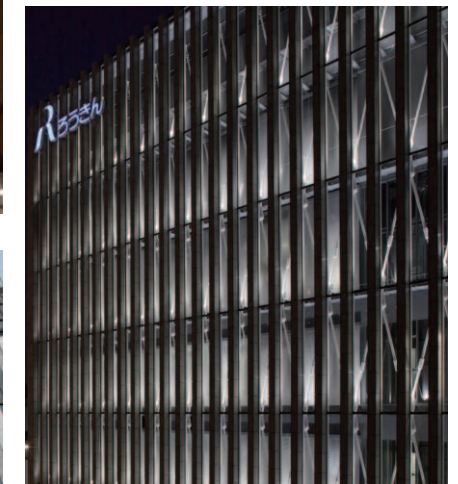
南東側全景 (昼景)



南東側全景 (夜景)



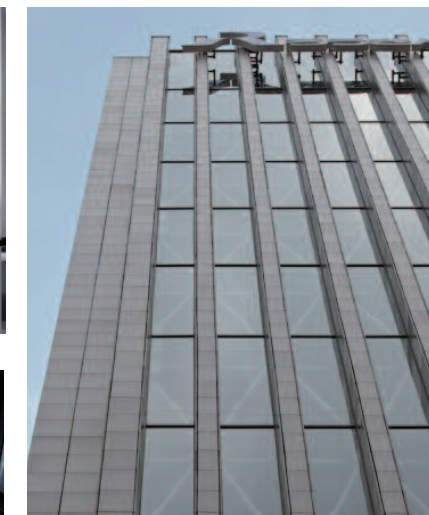
北側低層部



北西側中層部



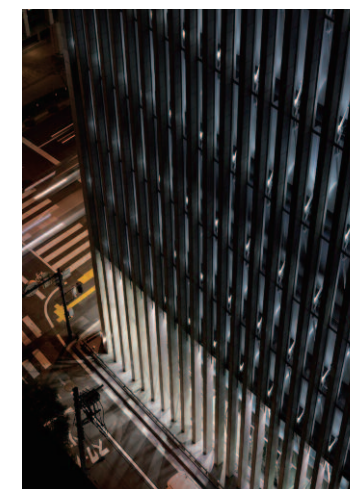
北側近景：夜間



北側見上げ



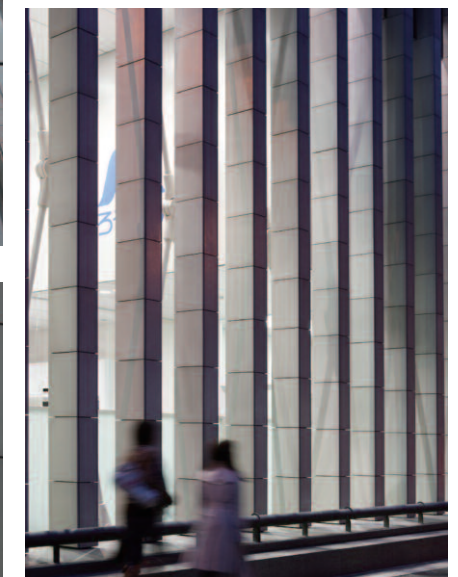
北西側コーナー



北側見下げ



北西側近景



北東側低層部